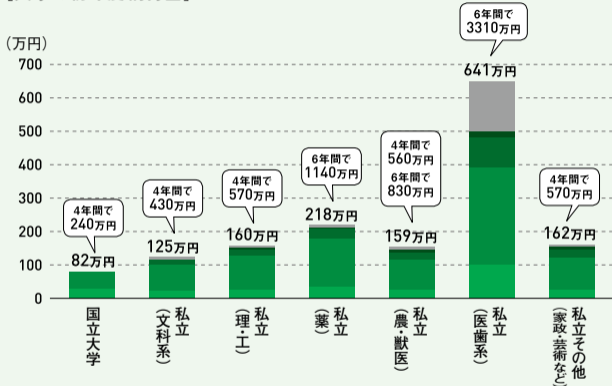


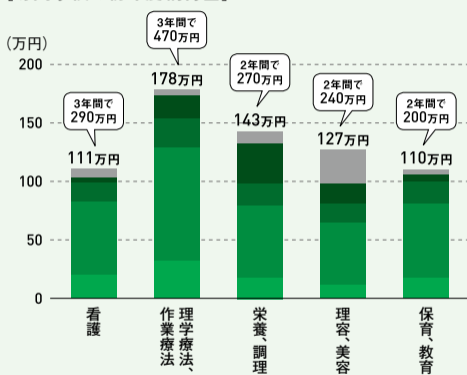
初年度納付金は約100万円～。分野によって大きな差

[大学の初年度納付金]



文部科学省「平成30年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)」(昼間部)
 ※国立大学は標準額 ※1万円未満は四捨五入 ※フキダシの数字は卒業までにかかる総額の目安

[専門学校の初年度納付金]



東京都専修学校各種学校協会「令和元年度 学生・生徒納付金調査結果」専門課程(専門学校)平均(昼間部)より抜粋
 ※1万円未満は四捨五入 ※フキダシの数字は卒業までにかかる総額の目安

- 入学科(金)
- 授業料
- (施設)設備費
- (実験)実習料
- その他

大学の初年度納付金(上記凡例の5項目の合算)は、国立はほとんどが標準額82万円だが、独自に値上げを行う大学も。私立は学部系統によって異なる。専門学校の初年度納付金も分野の差が大きく、約100万～180万円。いずれも就学年数によって卒業までの費用が変わるので、入学前に総額の見通しを立てておくことが大切だ。